

教育目標・卒業時到達目標と教育内容のつながり及び評価基準

教育目標	卒業時の到達目標	教育内容（教科目）						評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野	教科外		
1. 看護の対象である人間を総合的に理解できる能力を養う	(1)人間を身体的・心理的・社会的・文化的側面を合わせもつ存在として理解している (2) 人体の構造と機能を生活者の視点から正しく理解している (3) 人間は生涯発達し続ける存在であり、発達各期の身体・心理・社会的特徴を理解している (4) 人間は基本的欲求をもち、環境や社会と相互作用をしながら自己の価値観に基づいて生きている固有の存在であることを理解している	人間とは・生病老死・真善美=哲学 生活・社会・地域文化・家族=社会学 人間が創る美=生活の中の芸術 心理・基本的欲求=心理学 生涯発達=教育学 運動・活動=体育/運動と健康 人の繋がり=人間関係論/外国語ⅠⅡ 知の統合=論理学/情報科学	身体の構造と機能=解剖生理学/生化学/栄養学 日常生活行動・動作の仕組み =リハビリテーション論 人間の幸福と社会保障 =社会福祉・医療概論	人間とは・人間の生活・健康・家族関係理論=基礎看護学及び基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ	発達段階各期にある人の特徴と生活=成人・老年・小児・母性・精神看護学及び各看護学実習	人間の生活の場と療養生活、家族=在宅看護論及び在宅看護論実習 総合演習、総合実習	人間とは・人間の生老病死 =講話(講演会) 人間と環境 =コウトリの郷公園見学	各科目の単位取得条件はシラバスに記載 看護学実習の単位取得条件は実習評価に示す	全て必須科目なので、左記の条件を全て満たすこと *教科外活動は出席すべき時間数に算入する
2. 対象の健康問題に対して科学的根拠に基づいた計画的・効率的な看護実践ができる能力を身につける	(5) 健康を環境との相互作用の状況ととらえ、その考え方は流動的であり、かつ健康と病気は連続していることを理解している (6) 対象の発達段階、生活状況及び健康状態に対応した基本的な援助の判断ができる (7) 論理的な思考に基づいて看護を計画的に実施・評価することができる (8) 科学的根拠に基づいた正確で安全な基礎的看護技術を、対象の安楽・自立を考慮して提供できる (9) 健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復に向けた基礎的な看護援助が実践できる (10)援助過程においては対象の自己決定を支え、看護者としての倫理観に根差した行動をとることができる	生活活動と健康の成り立ち=体育・運動と健康 学習支援の方法 =教育学 人間の体と技の理・科学技術の原理・看護技術の物理学的理解 =物理学 論理学 人間関係論	病気の成り立ちと回復の促進 =疾病と治療/治療論/微生物と感染症・栄養学/薬理学・リハビリテーション論 環境・社会との相互作用・健康 =公衆衛生学/微生物と感染症・健康支援と保健・栄養学 医療・医学の発達と動向=医療概論	健康・疾病・障害の概念/基本的援助の判断/観察/看護の実践過程/看護技術 =基礎看護学及び基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 看護者の倫理観 =キャリア発達論	発達段階・生活状況・健康状態に対応し、かつ健康増進・疾病予防・健康回復に向けた看護実践=成人・老年・小児・母性・精神看護学及び各看護学実習	生活の場における看護 =在宅看護論/在宅看護論実習 安全な医療・看護の提供=看護管理と医療安全、総合演習、総合実習 災害時の看護と連携=災害看護と国際看護 看護研究の基礎=看護の探究・総合実習	看護実践への動機づけ・目的意識の涵養=実習リレーション 関西看護学生看護研究大会又は学会参加(目標5含む*)	各科目の単位取得条件はシラバスに記載 看護技術は選択された单元ごとに技術試験を課し、「できるまで」実施する 看護学実習の単位取得条件は実習評価に示す	
3. 人間の生命と人権の尊重を基盤とする倫理観に基づいた人間関係を形成する能力を養う	(11)豊かな感性と人間の喜びや悲しみ、痛みに寄り添う心を持ち、対象者の立場に立った看護実践ができる (12)常に対象者を尊重し、援助者としての自己を意識したコミュニケーションにより信頼関係を構築することができる	豊かな感性=生活の中の芸術 人間とは・感情・倫理・倫理的感性=心理学/哲学 信頼関係=人間関係論	生命倫理・医の倫理 =医療概論 人権・人と法 =関係法規・看護と法	コミュニケーション技術・援助関係=基礎看護学/基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 倫理観に基づいた人間関係=キャリア発達論	信頼関係形成 =各看護学及び各看護学実習 治療的人間関係 =精神看護学及び精神看護学実習	信頼関係の形成過程・看護研究の基礎・看護理論 =総合演習、総合実習・看護の探究	日常の関係形成・クラスづくり =ホームルーム・教育キャンプ	各科目の単位取得条件はシラバスに記載 看護学実習の単位取得条件は実習要項に示す	
4. 保健医療福祉チームにおける看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と連携・協働できる能力を身につける	(13)看護専門職としての役割を理解し、チームの一員として責任ある行動をとることができる (14)保健医療福祉チームにおける他職種の役割を理解し、連携・協働するために必要な基礎的能力が身につけている (15)常に安全な医療・看護を意識し、環境の一因であることを自覚した行動をとることができる	組織と人・チームワーク =人間関係論 医療情報の管理 =情報科学	医療福祉における人間関係・協調と協働 =医療概論/社会福祉/健康支援と保健活動 医療安全・関連する法規=関係法規・看護と法	看護職の役割・責任・チームワーク =基礎看護学/基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ	看護職の役割・責任・連携・協働 =各看護学/各看護学実習	左同=在宅看護論/在宅看護論実習 専門職としてのコミュニケーション・看護の組織とチームワーク =看護管理と医療安全・災害看護・総合実習	主体性を育む・チームワーク=教育キャンプ・ホームルーム運営/委員会活動・自治会活動・部活動	*上記に同じ	
5. 社会や医療の変化に対応できるように自己啓発に努め、看護を探究し続ける研究的態度を身につける	(16)常に看護についての問題意識をもち、理論的知識や研究成果を実践に活用できる能力を身につける (17)社会の動向に関心を持ち、保健医療福祉に関わる看護専門職の役割意識と課題を持つことができる	論理的思考・文章表現 =論理学 社会の動向と人間の生活=社会学	社会の動向と医療の役割=医療概論	問題解決思考,クリティカルシンキング,リフレクション=基礎看護学・キャリア発達論及び基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ	看護の探究 =各看護学実習	研究的態度=看護の探究 災害看護・国際援助=災害看護と国際看護	学習の動機づけ=ガイダンス/初年次教育/ともしびの儀 自己の発見・研鑽=自己啓発研修・ケーススタディ発表会	*上記に同じ	